

# 原料用サツマイモ系統「みちしずく(九州200号)」の特性

「みちしずく(九州200号)」は、「シロユタカ」に比べて多収で、でん粉歩留まりが高く、サツマイモ基腐病抵抗性は「中～やや強」

## 背景・目的

- ・サツマイモは本県畑作の基幹作物で、原料用・青果用・加工用等用途別の品種が必要
- ・本県で栽培されている既存品種の多くはサツマイモ基腐病に対して抵抗性が弱く、安定的な生産が困難
- ・原料用サツマイモの生産量を安定確保するためには、基腐病に強く、多収ででん粉歩留まりの高い品種の選定が急務

## 成果の内容

### 【特性】

- ・上いも収量は「シロユタカ」より多い
- ・基腐病抵抗性は「シロユタカ」より強く、「こないしん」より弱い
- ・上いも個数は「シロユタカ」より多く、1個重は「シロユタカ」と同程度～やや重い
- ・でん粉歩留まりは「シロユタカ」より高い
- ・しょ梗は「こないしん」より切り離し易い



図1 みちしずく(九州200号)  
(九州沖縄農研センター育成)

表1 萌芽本数, 貯蔵性, 病虫害抵抗性

品種・系統名	萌芽本数 本/個	貯蔵性	サツマイモ 基腐病 抵抗性	サツマイ モネコブ センチュウ 抵抗性	ミナミ ネグサレ センチュウ 抵抗性
みちしずく	9.8	やや易	中～やや強	強	やや強
シロユタカ	15.5	難	中	強	やや強
こないしん	8.7	易	やや強	強	強
コガネセンガン	9.0	中	やや弱	弱	やや弱

注1) 萌芽本数: 大隅支場令和元年～3年の3ヶ年平均  
注2) 貯蔵性, 病虫害抵抗性: 九州沖縄農研センター調査

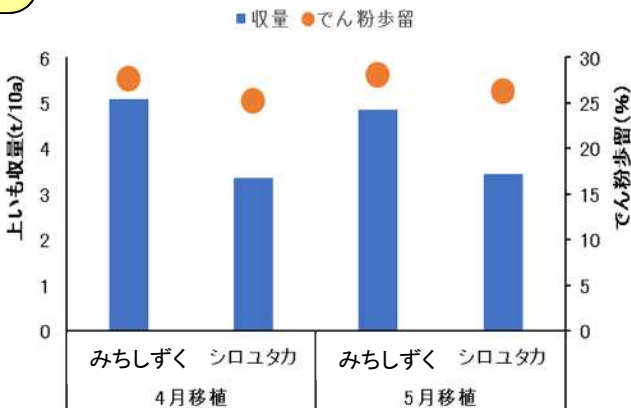


図2 上いも収量とでん粉歩留まり

## 期待される効果

○原料用サツマイモの安定生産  
と生産者の収益の確保



○普及対象・範囲  
県内サツマイモ生産者

鹿児島県農業開発総合センター  
大隅支場 園芸作物研究室

(イノベーション創出強化研究推進事業: 29028C)